

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	日韓フォーラム関連経費		<b>担当部局</b>	アジア大洋州局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成5年度		<b>担当課室</b>	北東アジア課		課長 小野 啓一		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	I-1 アジア大洋州地域外交				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第二項及び第三項 外務省組織令第40条		<b>関係する計画、 通知等</b>	日韓首脳会談(平成5年) 日韓共同宣言(平成12年) 日韓首脳共同声明(平成15年)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	平成5年11月に行われた日韓首脳会談に基づき設置された民間レベルの政策協議のためのフォーラム。未来志向の日韓関係のあり方を検討するため、日韓両国の政治家、経済人、学者、ジャーナリスト等のオピニオン・リーダーが参加し、政治・経済・安全保障・文化等幅広い分野における対話を継続して行い、日韓間の信頼関係の構築、交流推進を図ることが目的。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	日韓両国の政界・財界・学界・言論界等の各界の識者が一つの会場に集まり、政治・経済・安保・文化等において日韓間の諸問題や協力関係のあり方等、その時節に合った主題を決めて、基調講演を行い右について参加者が自由に討論を行う形式。参加者や議題については、日韓両国の議長(日本側：茂木友三郎キッコーマン株式会社社長)、代表幹事(日本側：山本正日本国際交流センター理事長)が相談して決めており、民間主導で両国のオピニオンリーダーが自由で率直な意見交換をする場となっている。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	11	7	11	6	10	
	執行額	11	7	11				
	執行率(%)	100.00%	100.00%	100.00%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	民間レベルの政策協議を通じた「未来志向」の新しい日韓関係の構築及び交流促進。 右成果実績は、フォーラム参加者数。			人	50	45	46	50
			達成度	%	100%	90%	92%	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日韓フォーラム開催回数。			回	1	1	1 (1)	— (1)
<b>単位当たり コスト</b>	233(千円/1人)		算出根拠	22年度執行額/会議出席者				
<b>平成 23 (単 位: 千 円 予 算 内 訳)</b>	<b>費目</b>	<b>23年度当初予算</b>	<b>24年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>				
	日韓フォーラム日本側事務局経費	6,342	9,977	事業見直しによる増				
	計	6,342	9,977					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
	会議開催前に事務局と連絡を取り合い状況を把握しながら事業を進めている。事後には事務局から報告書入手の上、支出先やその使途の妥当性について確認している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省  
11百万円



【企画競争】

A. (財)日本国際交流センター  
11百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)日本国際交流センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	通訳者、事務局	3.4			
旅費	参加者交通費	0.2			
その他	会議開催経費、資料作成費、事務局諸経費	7.4			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際交流センター	第18回日韓フォーラム日本側事務局業務	11	1	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					